

環境メルマ “Brownfields”

## ドライクリーニングサイト浄化修復のための州連合会

- 1) ドライクリーニングサイト浄化修復のための州連合会 (SCRD: State Coalition for Remediation of Drycleaners)
  - 2) カリフォルニア州のテトラクロロエチレン規制について
- 

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。

ちょっと前になりますが、米国の「ドライクリーニングサイト浄化修復のための州連合会 (SCRD: State Coalition for Remediation of Drycleaners)」から米国のドライクリーニング汚染サイトに関する州の取り組み状況についてお知らせがありました。今週は、その内容の一部をご紹介しますと思います。

その前に、ドライクリーニングサイト浄化修復のための州連合会 (SCRD: State Coalition for Remediation of Drycleaners) について説明させてください。

### 1) ドライクリーニングサイト浄化修復のための州連合会 (SCRD: State Coalition for Remediation of Drycleaners)

1980年、米国ではスーパーファンド法（正式名：The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act）が施行され、同法の下、サイト汚染関係者らに対して厳格に環境責任が追及されたのは周知のとおりです。これが契機となって米国社会では土壌・地下水汚染が環境問題のみならず、経済問題や都市計画をはじめとする社会問題へと発展していきました。そんな中、零細性を帯びる米国のクリーニング屋さんも、サイト汚染に対する管理・浄化責任を負うことを余儀なくされたのですが、そうはいつでもお金がない・・・ドライクリーニングサイトはブラウンフィールドへと変貌・・・。このような状況に変化を創るべく、州独自の自主的活動としてドライクリーニング汚染浄化対策支援プログラムを開発・運営してきたのです（環境メルマ Topic44、55、58、59 参照）。

1998年になると、米国環境保護庁スーパーファンド浄化修繕および技術革新局（Office of Superfund Remediation and Technology Innovation）からのバックアップにより「ドライクリーニングサイト浄化修繕のための州連合会 (SCRD: State Coalition for Remediation of Drycleaners)」が設立されました。同連合会の会員は、ドライクリーニング浄化プログラムを運営している13州（正会員）、およびドライクリーニング浄化プログラムは運営していないけれどもドライクリーニングサイトの浄化活動に積極的である3州（準会員）の計16州です。

□正会員：アラバマ州、コネチカット州、フロリダ州、イリノイ州、カンザス州、ミネソタ州、ミズーリ州、ノースカロライナ州、オレゴン州、サウスカロライナ州、テネシー州、テキサス州、ウイコンシン州

□準会員：カリフォルニア州、ルイジアナ州、ニューヨーク州

SCRD の活動は、

- ・ 州のドライクリーニング浄化プログラムに関連した情報交換、およびディスカッションのためのフォーラムを開催すること
- ・ ドライクリーニング浄化に特化したプログラムを設置していない州を交えた意見交換を実施すること
- ・ ドライクリーニングサイト浄化修復のための革新的技術の使用を奨励すること、などで。

## 2) カリフォルニア州のテトラクロロエチレン規制について

さて、この SCRD からカリフォルニア州の VOC 関連規制のお知らせがありました。

今年 1 月 25 日、カリフォルニア州環境保護庁の空気資源委員会 (the California Air Resources Board) は、カリフォルニア州の空気毒性管理対策 (California's Air Toxics Control Measure) の修正を正式承認したことにより、今から 2023 年までの約 15 年間で、次のような段階を踏みながらクリーニング溶剤としてテトラクロロエチレンを利用することが禁止されるそうです。

- ・ 2008 年、カリフォルニア州では、テトラクロロエチレン用洗濯機の販売禁止。
- ・ 2010 年 7 月までに、住宅エリアにおいてテトラクロロエチレン用洗濯機の使用禁止。
- ・ 2010 年までに、15 年以上前に購入したテトラクロロエチレン用洗濯機の使用禁止。
- ・ 2023 年 1 月までに、テトラクロロエチレン用洗濯機使用が全面禁止。

これは、米国の中でも大変具体的な規制ですね。「～～までに！！」これが環境対策にはとても重要だと思います。時間制限を設けないと、目標がぼやけてしまいますよね。欧米はこの点においてとても明確な目標をたてるな～といつも関心します。

さて、このカリフォルニア発の動きは全米に広がっていくでしょうか。

ご意見・ご感想等、大歓迎です。

では、皆様よいご週末をお迎えください。

Thanks God It's Friday!

Thanks God It's Brownfield!!

佐藤